

3、しごと 部会

部会長 坂口 智教 副部会長 小林 宏明 仲田 瞳 大島 祥子
 運営委員会担当者 綿貫 好子 ケアマネ連絡会担当者 木下 香織 小池 晶代
 長野市障害福祉課担当者 綿貫 威

1、年間テーマ

テーマ「はたらく」

サブテーマ「障害者雇用率のアップ」「支援員のスキルアップ」「就労アセスメントの質の向上」

2、部会等の開催状況

日時		会場	人数 (人)	部会のテーマ	主な内容
月	日				
10	20	ハーモニー 桃の郷 3F	31	コロナ禍における部会の 進め方及び支援方法	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍における、支援方法の課題を抽出し大規模災害時の支援体制の連携を検討。 ・来年度に向けて、「はたらく」をテーマに集団で集合できない中での幅広く周知する方法についての検討
2	16	ZOOMにて	21	来年度しごと部会の やり方	企業懇談会チーム、支援員スキルアップチーム、工賃アップチームの3つに分かれる。 企業懇談会チーム、令和3年9月22日に予定されている「障害者雇用優良事業所等表彰」にあわせて行う。開催に当たり、しごと部会としての内容をあげていった。 支援員スキルアップチーム、学習会及び事例検討会を企画し市場課題を抽出する。 工賃アップチーム、請負作業の減少により工賃がダウンしている中での今後の進め方

3、機関紙、冊子、アンケート調査・行事など報告書

- ・通所ガイドブックの作成

4、課題について

(1) 主な検討課題

- ・大規模災害時の支援体制の連携
- ・企業と障害者を結びつける方法

(2) 検討の目的と結果（現状）

- ・コロナ禍における支援体制をどのようにしていくか？
 - ・利用者及び職員の安全面を確保しながらの支援
→検討中
- ・企業側に障害者が働けることを知ってもらう
 - ・第4回まで企業懇談を行い約120社の新規企業に参加していただいたがコロナ禍の中、集団で集合型にて行えず新しい交流の場の創出を検討。
→検討中

(3) 引き続き検討が必要とされる課題

- ・大規模災害時の支援体制の連携
- ・企業と障害者を結びつける方法

(4) 部会の運営体制について

- ・集団で集まるという事ができず、定期的集まる機会が取りづらくやりづらい場面があった。
- ・執行部会員の入れ替わりが少なく、次世代につなぐりにくい。

5、総括（1年間を振り返って）

- ・しごと部会は、イベントを通じての広く一般に周知する方法が多いためコロナ禍の中非常に苦戦しました。ZOOMを利用し会議を企画しましたがZOOM環境などの施設対応も異なり参加人数も減り、慣れない環境の中議論も進まない状態でした。